

共通論題テーマ

「新時代」

私たちが生きる社会や経済は、急速に変化し続けています。デジタル技術の進展、グローバル化の深化、さらにはパンデミックによる社会的・経済的な変革など、これまでの日常が新たな価値観やルールによって再編されています。さらに、経済活動のボーダレス化が進み、国や地域の枠を超えた企業間取引や消費者行動が日常となりつつあります。同時に、国内では高齢化や人口減少に伴う社会構造の変化が、労働力や経済成長に新たな課題をもたらしており、私たちの社会全般に対する再定義が求められています。

特に、AI（人工知能）や生成 AI、ロボット技術の発展が、産業構造やビジネスモデルに劇的な変革をもたらしており、労働の自動化や生産性向上が急速に進む一方で、新たな雇用の創出や社会全体の役割分担について考え直す必要が生じています。また、環境問題への意識が高まる中で、企業や個人に対して持続可能な発展を追求する姿勢が求められており、サステナビリティの観点から地球環境の変化に対応する柔軟性と行動力が不可欠となっています。

「新時代」とは、従来の価値観や枠組みを超えて、技術革新や経済・社会の進展によって生まれる新たな時代の潮流を意味します。たとえば、生成 AI によるコンテンツ制作の自動化やパーソナライズされたサービスの提供、ロボット技術を取り入れた自動化工場の普及、経済活動のボーダレス化、そしてサステナビリティを重視した経済発展のあり方など、これらすべてが「新時代」における変化の一部です。

こうした新しい時代の到来は、個人や組織、社会全体にとっての大きな挑戦であると同時に、新たな成長の可能性をもたらします。そこで、今年度は「新時代」を共通論題として取り上げ、ゼミ活動を通じてこのテーマをどのように考え、捉えるかを議論し、新たな価値や視点を生み出してほしいと思います。各ゼミにおいて、今後の社会における新しいあり方や展望を、環境や人口動態の変化に対応する視点を含め、深く掘り下げてもらいたいと考えています。

2024 年 10 月

國學院大學経済学部教務委員会